



たかおか

2022
December
NO.776

12



講座名 鉄瓶のお話 鐵瓶屋



たかおか得する まちのゼミナール



講座名 冬に飾るリース作り 花工房/Miyako

塩谷会頭ら正副会頭が 高岡市に提案要望を行う



11月18日(金)塩谷 雄一会頭はじめ、菅野 克志、能作 克治、二口 真、中村 正治各副会頭、西田 隆文専務理事並びに当所青年部 茂崎 裕介会長、狩野副会長、清水専務らが高岡市役所を訪れ、角田悠紀市長に令和5年度の市予算編成に向けた要望書を手渡しその実現を求めた。

今回の提案要望は「重要文化財勝興寺を活用したまちづくりの推進」や「JR城端線・氷見線のLRT化による直通化と利便性の向上」など重点要望事項7項目を含む23項目の他、青年部からの4項目を加えた27項目。

重点要望事項

※Nは新規項目。要望事項については 一部抜粋して掲載しています。

1. 新型コロナウイルス感染症対策の継続支援について

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、国・県・高岡市においては、事業継続のために様々な支援策を講じられているところですが、中小企業・小規模事業者にとっては、価格高騰による経費増加を容易に価格転嫁できない経営環境にあり、中・長期的な視点での支援が必要となっています。一方、今般のコロナ禍により企業のDXが加速しており、業務効率化に直結する各種手続き等のオンライン化、押印廃止、手続き自体の簡素化・標準化についても企業ニーズが高まっております。

については、新型コロナウイルス感染症に加え、エネルギー・原材料価格高騰の影響を受けている中小企業・小規模事業者への経済対策の継続的な支援について、格段のご配慮をお願いします。

- (1) 原材料等価格高騰に伴う補助金、給付金、融資等各種支援の継続・強化
- (2) 事業主向け各種申請手続きのオンライン化・ハンコレス化の推進
- (3) キャッシュレス決済を対象とする大規模なポイント還元事業の実施

N 2. 「パートナーシップ構築宣言」の推進支援について

現在、国及び日本商工会議所をはじめ、各経済団体等において、大企業と中小企業の共存共栄を図るため、「パートナーシップ構築宣言」の仕組みを導入し、新型コロナウイルス感染症の影響等により、中小企業・小規模事業者を経営環境悪化のしわ寄せが及ばないよう、取引適正化等を促進する体制の整備が進められているところです。

については、本宣言企業の登録拡大に向け、高岡市独自の補助制度や入札加点制度等インセンティブの付与をご検討いただくとともに、周知活動へのご支援に格段のご配慮をお願いします。

N 3. カーボンニュートラルに向けた対応について

近年、温室効果ガスの増加が要因とされる地球規模での気候変動により、様々な自然災害が発生しています。国においては、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向けて取り組みを開始されています。この脱炭素社会は、国全体で取り組む必要があり、地方においても地域の特性に応じた効果的な手法を活用し、適切な対策と計画が求められています。

については、LED照明や太陽光発電設備導入等の省エネ投資、ゼロエミッションに資する製品開発等カーボンニュートラルに取り組む企業を後押しする支援策のほか、先進的なまちづくりの推進を図るべく、EV・PHV充電スタンドや水素ステーションの普及等、持続可能な都市の骨格づくりに向けた次世代インフラ整備について、格段のご配慮をお願いします。

- (1) 中小企業によるカーボンニュートラル実現に向けた取り組みへの支援

- N (2) 新エネルギーの普及を図る次世代自動車充電インフラ整備の推進

4. 「たかおかSDGsパートナー制度」の普及促進について

SDGsは、国連総会で合意された2030年までの世界共通の目標であり、世界の多くのプレイヤーが、SDGsを前提条件として活動しています。こ

のような中、これを無視して事業活動を行うことは、企業の持続可能性を揺るがすリスクをもたらします。

昨年10月、「地方創生SDGsの推進に関する連携協定」を締結し、本市においてSDGsの達成に向けた取り組みの強化と拡大を図る体制が確立しました。

ついては、中小企業等が取組む「たかおかSDGs推進パートナー制度」への登録拡大に向け多面的なご支援について、格段のご配慮をお願いします。

- (1)登録企業等への補助制度の優遇、融資制度、入札加点制度等の支援措置の検討

N (2)登録促進に向けたPR広報活動の強化

5. 重要文化財勝興寺を活用したまちづくりの推進について

- (1)勝興寺門前の整備促進(休憩所、駐車対策等)
- (2)勝興寺を中心とした賑わい創出事業への支援
- (3)勝興寺と瑞龍寺及び国泰寺の回遊ルートの策定と中心市街地にある観光資源との連携
- (4)ふるさと学習の一環として市内小学生全員を対象とした見学会の実施

6. JR城端線・氷見線のLRT化による直通化と利便性向上について

- (1)城端線・氷見線のLRT化・直通化及び万葉線との一体化の研究・推進

- (2)万葉線・あいの風とやま鉄道・バス等の乗り継ぎ利便性の向上
- (3)全駅へのICカード読み取り機の設置
- (4)新幹線新高岡駅との接続の改善と増便

N 7. 高岡テクノドームの機能拡充等に係る確実な整備について

高岡テクノドームは、県、市、地元経済界が中心となり、平成3年(1991年)に設置され、展示会等の開催や研究開発型企業の育成による産業の創出に寄与してきました。当該施設は、新高岡駅や大型ショッピングセンターに近接しているなど、周辺の立地環境の魅力が増大しています。今後、2024年3月には北陸新幹線の敦賀開業が予定されており、施設の利用ニーズがさらに拡大することが見込まれています。

現在、県では新幹線の敦賀開業を見据え、敷地内に多機能型の展示場を備えた別館を新たに整備することとし、実施設計が進められているところです。

ついては、県西部地域に大きな経済効果をもたらし、地域の発展に資する拠点施設として、当初の予定通りの規模や工期について円滑かつ確実な事業推進が行われるよう富山県への働きかけに格段のご配慮をお願いします。

要望事項

〈中小企業対策〉

1. 「たかおか企業人材確保推進事業」への継続支援について

- (1)「たかおか企業人材確保推進事業」への継続支援
- (2)人口対策としての移住・定住(UJターン)を促進する子育て・福祉・教育・雇用環境等の拡充
- (3)地域の自然環境及び住環境の良さを利点としたPRの強化

- N (4)他地域(県西部、県内、北陸地域)との連携事業・PRの強化

2. 小規模事業者支援における経営発達支援計画の連携強化について

- (1)事業承継支援における情報共有等支援機関相互の連携強化
- (2)高岡市創業支援事業者補助金(創業者等支援事業)における継続支援

- N (3)創業者の事業継続を目指し実施する「高岡スタートアップ塾」への連携支援

〈中心市街地活性化〉

3. 中心市街地の活性化について

- (1)御旅屋セリオへの食料品店の誘致、シェアオフィス・サテライトオフィスの整備、ベンチャー企業、公共施設等の誘致による早期再生

- (2)高岡駅前東地区の整備促進
- (3)高岡駅周辺地区における開発計画への支援
- (4)七夕祭り、なべまつりをはじめとする賑わい創出イベントへの支援
- (5)リノベーションまちづくり事業による空き店舗・空き家対策とまちなか居住の促進
- (6)高齢者等交通弱者に配慮した市内新交通システム導入の検討
- (7)eスポーツの振興、普及への支援
- (8)第4期中心市街地活性化基本計画の推進
- (9)高岡の町の由来をしめす旧町名の復活
- N (10)高岡駅～高岡大仏～古城公園をつなぐウォーキングエリアの環境整備と賑わい創出

4. 旧富山銀行本店建物の有効活用について

〈地域振興対策〉

5. 地場産品のPR強化と販路拡大への支援について

〈観光対策〉

6. 観光客受入態勢の充実について

- N (1)全国ネットのメディアへの広報やSNS等を活用した戦略的な誘客キャンペーンの実施
- (2)案内標識及び公共施設内の多言語対応、無料Wi-Fiの

整備等インバウンド対応の強化

(3) 着地型旅行商品の造成及びマイクロツーリズム(県民の県内観光地巡り)への支援

(4) 旅行や飲食、イベントなど需要回復への支援

(5) 市営の観光施設の入場料金の割引制度の充実

(6) 二次交通及びレンタサイクルの充実

(7) 県西部地域の主要な観光地・祭り・イベントの連携強化

(8) “ものづくりのまち”としての産業観光の推進

(9) 地域観光情報の発信力強化

(10) 山町筋(守山町側)への大型観光バスの通行規制解除

N (11) 空き家を活用した宿泊事業への支援

7. 高岡古城公園(高岡城跡)を活用したまちづくりについて

(1) 景観に配慮した樹木等の剪定・整備(鳥獣被害対策を含む)・桜の植え替え

(2) 眺望場所の整備(土塁や石垣、自然景観)

(3) 散策コース、ランニングコースの整備

(4) 保存と活用のバランスの取れた公園整備の推進

N (5) 古城公園周辺エリアの環境整備と美化

【地域開発】

8. 新幹線新高岡駅への「かがやき」定期便停車と臨時便継続について

N 9. 北陸新幹線敦賀開業に係る新高岡駅への「はくたか」「つるぎ」の全便停車について

2024年春の金沢-敦賀間の開業において、2023年8月頃にJRよりダイヤが発表される予定です。敦賀までの開業によって、「はくたか」は東京-敦賀間の所要時間が東海道新幹線ルートより時間延長となることから、東京発金沢止まりや福井止まりのダイヤ設定のほか、停車駅の選別による時間短縮便の運行も考えられます。

については、首都圏はもちろんのこと、関西・中京へのアクセス利便性の確保のため、新高岡駅への「はくたか」「つるぎ」の全便停車について、関係機関への働きかけに格別のご配慮をお願いします。

10. 東海北陸自動車道の4車線化の整備促進について

N 11. 能越自動車道の周辺整備について

(1) 高岡IC周辺の市街化区域の拡大による開発促進

(2) 道の駅高岡の駐車場の拡張

N (3) 福岡PAのIC化の早期実現

12. 伏木富山港の整備促進について

13. 道路整備の推進について

(1) 能越自動車道高岡北ICから中心市街地及び伏木外港へのアクセス強化を図る道路整備

N (2) 高岡環状道路(北側区間)の早期事業着手

(3) 都市計画道路

【その他】

14. 防災(減災)対策の強化について

(1) 企業団地と幹線道路を結ぶ道路除雪を優先確保

(2) 地域の除雪に協力する企業の除雪機導入への支援

(3) 主要河川におけるダムの機能及び堤防の強化

(4) 適時適切な防災情報の提供

(5) 避難場所の再チェックと十分な収容スペースの確保

N (6) 防災(減災)機能を有する減価償却資産取得に係る固定資産税の減免

N (7) 事業継続力強化計画策定事業者に対する補助制度及び融資制度等の支援措置の検討

15. 高峰譲吉博士の顕彰事業の充実について

N 16. 小中学校の再編統合による跡地の開発について

少子化の進行による市立学校の再編統合が進められ、適正規模の学校を適切に配置する教育環境の整備が計画され、今後小学校26校を19校に再編する基本方針のもと、段階的な再編統合が進められています。

については、廃校となる跡地の活用にあたり、それぞれの地域の特性に配慮され、かつ地域の振興・発展に資するような開発が行われるよう特段のご配慮をお願いします。

高岡商工会議所青年部 提案要望事項

1. 地域観光情報の発信について
2. 観光商品のシリーズ化によるPR活動について
3. 民間と行政、大学との連携・意見交換について
4. 「高岡未来プロジェクト(仮)」の実施



令和5年 新春高岡経済懇談会



高岡商工会議所は新年の賀詞を交換し会員相互の交流と親睦を深めるため、令和5年新春高岡経済懇談会を開催致します。新春を祝う経済懇談会に会員事業所の方々のご参加をお待ち申し上げております。

日 時 令和5年1月16日(月) 18:00~19:30

場 所 高岡商工ビル 2階大ホール

参加資格 高岡商工会議所 会員事業所(1社1名まで)

定 員 120名(先着順)

参加費 5,000円

その他 参加申し込みのない方は、当日ご入場できません。

申込締切

令和4年

12/23(金)

【問合先】高岡商工会議所 総務部 TEL 23-5001

※会報同封の折込チラシをご確認ください。

PHOTO LIBRARY



10. 14、28、11. 7

ECサイト運用の基礎から実践までの イロハ習得セミナーを開催

活発化するEC市場で売れる
仕組みづくり構築を目指す

小規模事業者向けにECサイトの運用セミナーを開催し、22名が受講した。グローバルマーケティング㈱ 武田 知浩 氏を講師に迎え、伸び続けるEC市場で売上獲得につながるようマーケティングの理解を深めながらネットショップ運用のコツを解説した他、サイト制作の実践も行った。受講者は全3回のカリキュラムの中で集客ならびに売上につながる分析データの確認方法を学び、数字に基づいた訪問数、販売数等の目標設定に取り組んだ。



10. 23、30、11. 6

創業講座を開講

創業への第一歩を踏み出す

これから創業を目指す方や開業して間もない方、新たな分野へのチャレンジを目指す事業者の方などを対象に、創業までに必要な準備の他、事業展開に欠かすことのできない経営戦略やマーケティング、金融・税務の基礎知識などを学ぶ創業講座を開講し、22名が参加した。参加者らは全3回のカリキュラムの中で、市場分析や、資金調達・補助金申請に欠かせない事業計画書の作成などを通じて創業イメージの具体化に取り組んだ。



11. 6

高校生が高岡市内の観光ガイド体験

高岡の魅力を学び伝えることで
地域の魅力を再発見

高岡商業高校の3年生が高岡市内の名所を巡る観光ガイドに挑戦した。課題研究「観光ビジネス」の一環で、市内の観光施設や史跡を調査して発信、地元で愛情や誇りを持つことを目的に、当所と市観光協会、市産業振興部、観光ボランティアグループが協力。事前学習で名所の歴史やみどころ、ガイドのポイントを学び、3班に分かれ重伝建の金屋町と高岡古城公園、国宝指定の答申を受けた勝興寺の3カ所を訪れ各所で成果を披露した。



11. 9～10

富山県 高岡のうまみとたくみフェア 2022

JR大宮駅西口イベントスペースで
食・工芸の魅力発信

小規模事業者の販路開拓、需要動向調査ならびに当市の魅力発信を目的とした「富山県 高岡のうまみとたくみフェア2022」をJR大宮駅コンコースで開催し、地域資源活用商品を取り扱う市内7事業者が出店した。会場では来年の干支やトレンドのライフスタイル品、富山らしい水産物やこだわり素材の商品が並び、事業者らは来場者に向け商品説明や実演を通じて商品の魅力を伝えた。実施した需要動向調査結果は今後の商品改良や販路開拓に繋げる。



近世高岡の文化遺産を愛する会 視察会を実施

中尊寺金色堂など岩手・宮城の世界遺産を巡る

近世高岡の文化遺産を愛する会の研修視察会が行われ、会員ら10名が参加した。一行は、初日は藤原氏の栄華を誇る世界遺産である中尊寺金色堂や、浄土庭園であり特別史跡・特別名勝の二重指定を受ける毛越寺(もうつうじ)を訪れた。平泉文化の象徴である中尊寺金色堂の荘厳な建物に参加者からは、溜息が漏れた。翌日は、伊達政宗にまつわる瑞鳳殿や瑞巖寺、日本三景である松島などを巡り、世界遺産への造詣を深め、2日間の旅を満喫した。



国際経済・観光国際セミナーを開催

中国の内外情勢と今後の展望について学ぶ

流通、伝統産業、観光・サービス業部会は3部会合同でオープン講演会を開催し、72名が参加した。講師に元駐中華人民共和国特命全権大使である横井 裕氏を迎え、中国の政治情勢の歴史を振り返るとともにコロナによる影響、それに対する「中国式コロナ対策」についてお話いただいた。また、ロシアのウクライナ侵攻について、近年の中露関係や今後の中国等への影響についても語られた。受講者は中国に限らず世界情勢に目を向けることの大切さを改めて感じた。



たかおかプレミアム商品券販売

高岡テクノドーム及び高岡商工ビルにて販売！

高岡商工会議所は、新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けている地域経済の回復を図り、売上が落ち込んでいる市内事業者を応援するため、プレミアム商品券発行事業を行った。キャンペーンの実施にあたり、商品券利用対象となる加盟店を募集した後、23日に高岡テクノドーム、24・25日に高岡商工ビルで商品券を販売。今年は事前抽選を行ったため販売当日に大きな混乱は見られなかった。年末年始の購買需要に合わせて消費の増加を見込む。



金融セミナー開催

決算書の見方と資金繰り表の作成

小規模事業者向けに金融セミナーを開催し、32社33名が受講した。元銀行員である水持中小企業診断士事務所 事務所長 水持 雄一氏を講師に迎え、実際の決算書を見ながら、融資する側は決算書のどこを見ているのか、資金繰り表の作成の仕方及び重要性について解説した他、小規模事業者持続化補助金といった各種補助金について説明を行った。受講者は経営内容を正確に把握し、自社発展のための資金運用の方法について学び、理解を深めた。

